

# 令和7年度認定こども園北新庄の取り組みとその成果

令和8年3月19日 認定こども園北新庄

認定こども園北新庄では、園児一人ひとりが園生活の中で、遊びや活動に興味、関心を持ち、自分から関わっていくことができるよう、職員が研修を重ね、教育・保育に取り組んでいます。今年度の取り組みを振り返り、全職員で自己評価を行いました。その結果をもとに、園としての「よかった点」や「これから大切にしていきたいこと」をまとめましたので、保護者の皆さまにお伝えいたします。

## 1. 良かった点(成果)

### ① 遊びや生活の環境づくり

- ・ 子ども達の興味や発達に合うように、クラスや遊びの環境を職員同士で話し合い、見直しました。
- ・ 結果、自分から遊びに取り組む姿が増え、友達と関わる様子や、遊びの継続、広がりが見られました。
- ・ 年齢の違う子ども同士で遊ぶ機会が増え、年上の子が年下の子を気づかたり、年下の子が年上の遊びを真似て挑戦したりする姿が見られました。



### ② 子ども理解と個別の支援

- ・ 保健師さんや保育カウンセラーさんなどの巡回相談を通して、子ども理解を深めました。
- ・ 子どもの行動から気持ちを読み取り、安心して過ごすことができる関わりや環境づくりにつなげています。



### ③ 食育の取り組み

- ・ 昨年度の課題であった「食育」に、今年度は意識して取り組みました。
- ・ 未満児クラスでは、「食べたい」という気持ちで食事に向かえるよう、食事の仕方や流れを見直しました。
- ・ 給食調理員と連携し、園で育てた野菜でクッキングをしたり、調理員が子ども達と一緒に食事をしたりしました。
- ・ 結果、食べ物への興味が広がり、箸の持ち方や姿勢など、食事のマナーにも目を向ける姿が増えました。



### ④ 地域とのつながり

- ・ 地域の「快援隊」のみなさんの協力で、つながる農縁での苗植えや収穫を体験しました。
- ・ 日赤奉仕団のみなさんからは、災害でライフラインが止まった時に備え、ビニール袋(マイラップ)でお米をごはんにする方法を教わりました。
- ・ 地域の方との体験を通して、「食」に関する学びが深まりました。また、地域の方を身近に感じることができ、親しみをもって関わる姿が見られました。



## ⑤ 小学校との交流

- ・ 北新庄小学校の1年生の先生や幼小接続コーディネーターと話し合いの場をもちながら、計画的に1年生との交流活動を進めました。
- ・ 小学校の家庭科の学習で、6年生も園を訪れ、一緒に遊ぶ機会ももつことができました。
- ・ 子ども達は、小学校や小学生を身近に感じ、就学への期待や親しみをもつことにつながっています。



## 2. これから大切にしていきたいこと(課題からの改善の方向)

### ① 話し合いと共有をふやす

- ・ 子ども一人ひとりの育ちを大切にするため、様々な計画の目的や内容を職員間で共有し、日々の保育を話し合う時間を大切にします。
- ・ 研修で学んだことや子ども育ちの様子を伝え合い、毎日の教育・保育につなげます。

### ② ICT(パソコンやタブレット)の活用

- ・ 子どもとの時間を大切にするため、パソコン操作の研修を行い、事務や連絡の効率化に努めます。
- ・ 保護者アンケートを行い、子育てに役立つ情報や園からのお知らせを、分かりやすく発信し、子育て支援に努めます。

### ③ 業務体制と食育の充実

- ・ 子ども一人ひとりをよく理解し、よりよい関わりや子育て支援につなげていくため、業務の進め方や園の環境を見直し、教育・保育の質の向上に努めます。
- ・ 子どもたちが食べることに興味や関心をもてるよう、調理員と連携し、「食」と「生活・遊び」がつながる食育計画を作っていきます。

日頃より、園の諸活動に対しまして、ご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

これからも、子ども達の「やってみたい!」を応援し、安心して過ごすことができますよう、教育・保育の質向上ならびに、生活や遊びの環境づくりに取り組んでまいります。ご意見やご質問がございましたら、どうぞお気軽にお知らせください。

